

名大で仏の柔道教育を紹介 ボルドー大ブルース教授

2009年10月4日

仏ボルドー大の教授で元国際柔道連盟理事のミッシェル・ブルースさん(57)を招いた講演会と柔道指導会(中日新聞社後援)が3日、名古屋市千種区の名古屋大で開かれた。競技人口が日本の3倍という仏の柔道教育を紹介し、東海地方の指導者や小中高校生、学生ら約100人が学んだ。

ブルースさんは柔道7段で、1969～71年に柔道欧州チャンピオンシップで優勝。大学ではスポーツ歴史学などを教えている。名大柔道部OB会の二村雄次会長と親交があり、同部とOB会、NPO法人愛知国際柔道自然塾が招いた。

講演では「忍耐強さや思いやりを学ぶ教育的効果を、仏の親たちが評価している」と分析。指導者をランク付けしてトップ選手を養成する一方、勝ち負けにこだわらない楽しい指導で底辺も広げていると紹介した。

指導会では、円状に置いた帯の中で回転して相手を揺さぶる練習や、目を閉じて受け身や投げ技の感覚を覚える独特の練習法を、実技を交えて紹介した。

(島崎諭生)

フランス独特の練習方法を教えるブルースさん(右) = 名古屋市千種区の名大柔道場で



2009年(平成21年)10月4日(日曜日)

仏の柔道教育を紹介

ホルドー大 名大で講演・指導
ブルース教授

仏ホルドー大の教授、ブルース教授が日本の三倍以上で元国際柔道連盟理事という仏の柔道教育のミッシェル・ブルースさんを招いた講演会と柔道指導会(中日新聞社後援)が三日、名古屋市中村区の名古屋大で開かれた。



フランス独特の講道方法を伝えるブルースさん(右)名古屋市中村区の名大柔道場で

フランス独特の講道方法を伝えるブルースさん(右)名古屋市中村区の名大柔道場で講演会と柔道指導会(中日新聞社後援)が三日、名古屋市中村区の名古屋大で開かれた。

ブルースさんは柔道欧州チャンピオンシップで優勝。史学などを教えている。指導者をリンク付けて紹介した。

(最崎諭生)